

機械器具01 手術台及び治療台

一般医療機器 手術台アクセサリ(JMDN:70469000)

手用 手術架台

【禁忌・禁止】

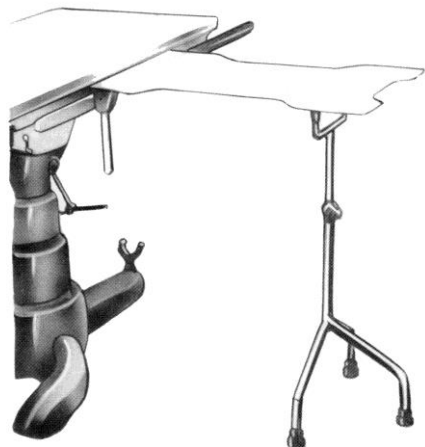
- 1) 本品は必ず手術台に固定して使用して下さい。単独では使用できません。
- 2) 本品の手術板を曲げたり、切削する等の二次的加工(改造)することは、破損の原因となるので、絶対に行わないで下さい。
- 3) 本器を清掃する際には、必ず中性洗剤をご使用下さい。酸性、又はアルカリ性の洗剤は、本製品を腐蝕させるおそれがあるので、絶対に避けて下さい。
- 4) 本来の使用目的以外に使用しないで下さい。

【形状・構造及び原理等】

1. 材質:ステンレス鋼、アルミニウム合金

2. 形状又は構造

カタログNo. 510 手用 手術架台



3. 原理

本品は、手術板部分を手術台のマットレスの下に挟み込んで固定する。

【使用目的又は効果】

本品は、手術台の側面に張り出すように設置し、手の外科手術の際、患者の上・前腕部分を支えるために用いる。

【使用方法等】

- 1) 手術板部分を、手術台のマットレスの下へ確実に押し込んで下さい。
- 2) 架台の支脚の高さ調節用ノブを緩め、支脚を伸縮させて手術板が床面に対して平行になるように調整、固定して下さい。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 本品は単独で使用せず、必ず手術台に固定してご使用下さい。
- 2) 本品は滅菌可能な仕様ではないため、手術板部分を滅菌済ドレープで被ってから、患者の前腕・上腕部を乗せて下さい。
- 3) 術中に手術台を上下させる際は、本器支脚の調節ノブを必ず緩めてから行って下さい。手術台の高さの調節が済んでから、再びノブを確実に締めて下さい。

- 4) 本器の手術板に過度の重さをかけると変形するおそれがあります。また、術中の器械台代わりに使用しないで下さい。

2. 不具合・有害事象

本器の使用により、以下のような不具合・有害事象がおこる可能性があります。

- 1) 手術板の差し込みが浅いと、術中手術板が不安定になったり、脱落するおそれがあります。
- 2) 支脚の高さ調節用ノブの摩滅により、手術板が不安定になるおそれがあります。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法:発錆等を防ぐため、常温・常湿の場所で保管して下さい。

【保守点検に係る事項】

- 1) 本器は、定期的に清掃を行って下さい。清掃に用いる洗剤は、中性洗剤を使用し、適切な濃度で使用して下さい。
- 2) 本体各部を点検し、キズ、腐蝕がないか、支脚の調節用ノブは確実に固定できるか点検して下さい。異常がある場合には使用せず、直ちに修理に出して下さい。
- 3) 強アルカリ性、または強酸性の洗剤や消毒液は、器具を腐蝕させるおそれがあるので、絶対に使用を避けて下さい。中性洗剤の使用を推奨します。また、金属たわし、クレンザー(磨き粉)等は、器具の表面が損傷するので、清掃の際には使用しないで下さい。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: 株式会社 根本商会